

やまぐち水循環再生シンポジウム



2025.11.12 水

第1部 9:30-12:00 第2部 13:30-16:00

会場：ルルサス防府 多目的ホール(JR防府駅隣接)

※第2部のみ、YouTubeにてライブ配信あり(要予約・アーカイブ視聴可)

気候変動が加速する中、それぞれの地域で取り組むだけでなく、
山、川、里、海をつなぐ、より包括的な視点が求められています。

キーワードは「水循環」。自然と共生する持続可能な地域のあり方を考えます。

設計CPD制度
対象(午前のみ)

参加費：無料

定員：100名

申込み：QRコードからお申し込みください(※切 10/30)

お問合せ：「やまぐち水循環再生シンポジウム」実行委員会(やまぐち鋳物記念館内)

Email abongecodesing@gmail.com

TEL 0835-28-3970 FAX 0835-28-3703

主催：ほうふ里海づくり協議会

後援：山口県、防府市、(一社)山口県測量設計業協会、
NPO法人山口県防災・砂防ボランティア協会、公益社団法人日本河川協会、
やまぐち水辺交流会、防府市市民活動支援センター



参加申込みはこちら

里海マルシェ

12:00~13:30

昼休憩の会場にて開催

海藻、干物、塩、濁酒、
土中環境改善の道具などの
販売もあります!



(イメージ)

アイゴ弁当 1,000円(お茶付)

数量限定!「アイゴ弁当」販売します

「ほうふ里海づくり協議会」では、藻場を守るため、食害魚のアイゴの商品化に取り組んでいます。当日は、そのアイゴを使ったオリジナルお弁当をご用意。美味しく食べて海を守る取り組みにご協力ください。

※事前予約制。参加申込時に注文ください
当日会場にて代金と引き換え(現金のみ)

※本事業は、「パタゴニア 海と陸のつながりから沿岸域の再生を進める戦略助成事業2025」の採択をいただき、実施しています。

第1部 (行政・設計技術者向け)

設計CPD制度対象(午前のみ)

スケジュール

第2部 (一般向け)

どなたでもご参加できます

9:00～	開場
9:30～9:40	開会あいさつ
9:40～10:40	講演① 「防災と水循環を考える」 講師:草野慎一氏
10:50～11:50	講演② 「礫を活用した河川環境改善について」 講師:安田陽一氏
11:50～12:00	工法紹介 「環境共生と短期施工を両立する鑄田籠工法」

13:30～14:20	講演③ 「土中環境の視点を現代の インフラ整備に活かすために」 講師:高田宏臣氏
14:25～15:25	パネルディスカッション 「私たちの地域の 水循環を未来へ」 パネラー:講演者3名、司会:まきのめぐみ
15:25～15:30	質疑応答&まとめ・閉会

【テーマ】

水循環再生が、 流域治水を変える

気候変動が加速する中、河川や山林の災害対策や治水の考え方も大きく変わってきています。グリーンインフラをはじめ、これからの時代に求められるのは、地域が自らの力で災害に備え、被害を最小限に抑える取り組みです。第1部では、行政や専門家の立場から最新情報を伺います。

講 師

草野 慎一氏

前国土交通省 砂防部長



長年、河川・砂防行政に携わり、土砂災害対策や治水事業に尽力。地域防災の第一人者として知られ、全国で防災施策の推進に貢献されました。退官後も豊富な経験をもとに講演・指導を行い、次世代技術者への継承に努めています。

安田 陽一氏

日本大学理工学部
土木工学科教授



専門は水理学・河川工学。流域治水や水循環システムの研究を推進、学術的成果を社会実装へとつなげています。全国の技術者や行政職員への講習にも力を入れ、実務と研究を橋渡しする存在。現在、山口県光市を流れる島田川では、漁協と連携し「ウナギの棲める川づくり」にも取り組んでいます。

【テーマ】

土中環境から土地を読む ～めぐる水と地域の未来～

いま、自然に携わる多くの人たちが注目しているのが「水循環」です。山も、川も、まちも、海も……。地球規模で異常気象が頻発するようになり、目の前の環境だけでなく、それらを含むより大きな視点が求められているのです。

そこで前半は、「土中環境」の著者、高田宏臣氏を講師に、水循環のしくみや、身近にできる改善方法などを学びます。後半は、講師3人によるパネルディスカッション。多様な視点から、これからの自然と共生する地域のあり方を話し合いたいと思います。



講 師

高田 宏臣氏

樹木医、『土中環境』著者



株式会社高田造園設計事務所代表、NPO法人地球守代表理事。著書『土中環境』で注目を集め、健全な土壌環境の回復と水循環再生をテーマに全国で活動。市民や地域と共に実践的な環境再生活動を行い、「自然と共生する暮らし」のあり方を提案しています。